

異常気象

公益委員 新納幸辰

私の一日は、気象庁のHPを開くことから始まります。趣味の魚釣りに必要な情報を得るために始めたことですが、いつのまにかそれ自体が趣味になってしまいました。10数年前、気象予報士の資格を取ろうと思い立ち、受験参考書を2冊買い込みましたが、1冊を斜め読みしただけで挫折しました。石原良純さんや、お天気お姉さんたちは尊敬に値します。

さて、ここ数年を振り返ると、異常気象の連続でした。記憶に新しい方から思いつくままに並べてみると

- (1) この冬は、記録的暖冬でした。全国の観測地点150余のうち3分の2以上の地点で、昨年12月から今年2月の平均気温が観測史上最高となりました。
- (2) 今年2月には、南極大陸で18.3度(20度以上とも報じられています。)という記録的高気温が観測されました。雪が解けて一部地表が剥き出しになった南極の島の衛星写真は衝撃的でした。
- (3) 昨年10月、台風15号、19号が相次いで関東に上陸し、千葉県を中心に、洪水や、長期間にわたる停電等の深刻な被害が生じました。台風が勢力を維持したまま北上し、東日本や北日本にまで大きな被害を及ぼすことが多くなったように思います。
- (4) 鹿児島県では、昨年6月末から7月初めにかけて記録的な大雨となりました。一日の降水量では、鹿児島県内の7観測地点で観測史上最大を記録し、河川の氾濫や、崖崩れが各地で起こりました。鹿児島市内でもあちこちで崖崩れが起こり、今でも、復旧されないまま剥き出しになっている山肌や、暫定的にビニールシートで覆われている様子を見かけます。
- (5) 数年来、日本列島は毎年のように猛暑に見舞われています。

2007年に埼玉県熊谷市で、74年ぶりに日本歴代最高気温の記録を更新したと話題になりましたが、一昨年は、同市でこれを更新する41.1度を記録しました。この年は多くの

観測地点で、40度を超える最高気温を記録しました。 昨年も、6つの観測地点で40度超の最高気温を記録しています。鹿児島県では、2016年に、鹿児島市などで観測史上最高気温を記録しましたが、37度台でした。一昨年は37度台、昨年は36度台が最高でした。それでも大変な暑さです。幼いころ、冷房のない部屋で、蚊帳に入って寝ていた記憶がありますが、今では考えられないことです。

このまま書き続けると、1993年の8.6水害まで遡ってしまいそうです。

これらの事象をただちに地球温暖化に結び付けるのはいささか乱暴かもしれません。個々の事象については、エルニーニョ・ラニーニャ現象、偏西風の蛇行等によって説明できるものもあります。ただ、同じような気象現象が毎年のように繰り返されることの根底には、地球温暖化があると思えてなりません。

いずれにしても、二酸化炭素の排出により地球温暖化が進行しつつあることは動かしがたい事実です。以前は、地球温暖化を否定する考え方もありましたが、現在では地球温暖化が進行しつつあるということについてはほぼ異論がないと思います。 IPCCという国際的な専門家の研究機構が1988年に設立されて地球温暖化についての調査研究を続け、これまで数年おきにその成果を報告書にとりまとめて公表しており、直近では2013年に第5次報告書が公表されました。気象庁のHPに掲載されていますので、興味のある方は読んでみてください。

近年、わが国も、諸外国も地球温暖化の防止策を積極的に進めてきましたが、昨年あたりから、その動きに陰りが見えているのは、大変気がかりなことです。

地球温暖化以外にも、現代社会は、長期的、計画的に努力を続けて行かなければ 解決できない深刻な課題を抱えています。

現在の利益(あるいは不利益)と50年先の利益(前同)を天秤にかけて軽重を計るのはなかなか難しいと思いますが、私は、そういった課題については、孫やひ孫が生きる時代に良い社会や環境を残すことを優先に、考え、行動したいと思っています。